



SUN ななと。

人と人を結ぶ広報誌に
高平のありのままを届けたい



高平郷づくり協議会
広報委員長
西 るみ さん
Rumi Nishi 酒井



ラジオ・ハニー-FMでもっと詳しく聴けます！【7/20 15時10分〜】

「高平のありのままを届けたい」と話すのは「高平郷づくり通信」を制作する西るみさん。育てた四季の花を子どもたちに届け「お花のるみさん」と呼ばれる西さんは、日々の暮らしでも高平を届ける広報パーソンだ。

「やってみようかな」思わず口にしたのは5年前。広報誌を作らないかと声がかかった。地域のことをよく知らない自分には無理だ。一度は断った。しかし、その場で翻意した理由は、当時の高平郷づくり協議会会長の一言。「今日は来てくれてよかった。素敵なご縁をありがとう」心をわしづかみにされた。家族のように人を包み込むのは高平の気質だろうか。気付けば、引き受けていた。

年4回、地区の全戸に届く広報誌には、学校から活動団体まで、高平住民の笑顔あふれる日常が綴られる。寄稿形式で、手を加えないのが西さんのこだわり。「文章には人柄や地域への想いが表れるので」。14の地域から成る高平地区。人柄も土地柄も「ありのまま」が一番素敵だと知っているからだ。何よりこだわるのは、高平の人が「集う」ような広報誌にすること。「つながりや新たな輪ができれば」と願う。年度初めには地区の役員一覧を掲載するようにした。西さんは、常に誌面の向こう側を想う。「続けることが一番大事」行き

詰まったとき、前任者がくれた一言。その意味が分かったのは——コロナ禍、予定表が中止のみのお知らせになっても「これが今の高平の日常。このお知らせを待っている人がきつといる」そう思ったときだった。大事なものは、どんな状況下でも、この広報誌が「高平の日常を届ける存在」であり続けること。あの時の言葉は今でも背中を押してくれる。

「今日もピンク色の雲に会えた。みんなも見ているかな」散歩中、空を見て、西さんは地域を想う。同じように広報誌を見て、地域の人々が地域を想う。高平の空にも誌面にも「つながり」を感じずにはいられないのは、彼女がそれを最も大切にしているからだ。人と人を結ぶ広報誌に——西さんは作り続ける。素敵なご縁に感謝しながら、高平をいっぱい詰り込んで。

カラフルな色使いにやさしいデザイン。西さんの柔らかい人柄が誌面に表れているのだと思います。地域の情報も網羅されていてとても便利。地域の子どもの様子が知れて、高平のつながりを感じられることが嬉しいですね。



広報誌に寄稿する
ふれあい活動推進協
議会ふれあい部会長
井上 幸子 さん

"自分たち"で楽しい学園小に！

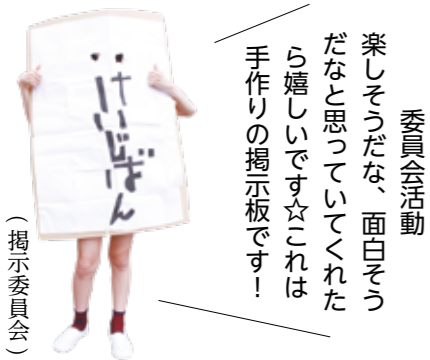


学校自慢
vol.7
学園小学校

平成4年、カルチャータウンのまちびらきにあわせて開校した学園小学校は今年創立30周年を迎えた。当時、木によるまちづくりが進められていたカルチャータウン。学園小学校は市立小・中学校のうち唯一の木造校舎で、地域のシンボリックな存在となっている。「自分たちで楽しい学園小にしたい！」と委員会活動に楽しんで取り組む5・6年生に自慢を聞いた。

学園小学校といえば！
学園小にしかない「木造校舎」と「時計塔」が自慢です。地域のシンボルでもあり、学園小みんなの誇りです。人数は少ないけど学年を超えて友達になれたり、仲良くできるのもいいところです。そして、委員会活動がとて活発です！

自分たちで創り出せる楽しさ
各委員会では、中休みや昼休みに活動を行っています。やりたいうことをみんなで話し合い、自分たちで創り出せるところがとても楽しくて、やりがいがあります。「学校やみんなの役に立ちたい」この想いをみんなが持っています。楽しむ時は楽しむ、真面目にやるときは真面目にやる、これが全員で協力できる秘訣です！



委員会活動
楽しそうだな、面白そうだなと思っていてくれたら嬉しいです☆これは手作りの掲示板です！

(掲示委員会)

大変よりも「楽しい」を伝えたい

5月21日、委員会の活動内容を、クイズや劇・コントなどを交えて1・4年生に発表しました。**掲示委員会** 良かったことを書いて「やさしさの花カード」を掲示して、やさしさいっぱい学校に！**保健・給食委員会** セッケンを使って手洗いのうたなどコロナ対策の大切さを呼びかけます！**美化委員会** みんなで楽しく！学校をきれいにする工夫を伝えます。**体育委員会** みんなで一緒に外で遊んだり、運動しよう！**放送委員会** 給食の時間にはみんなでおしゃべりができない今、少しでも楽しい給食の時間になるようにリクエスト曲を流すからみんな楽しみにしててね！**図書委員会** 本を読んで楽しんでもらったり、図鑑で新しいことを知ってもらえたら嬉しいです。**計画委員会** みんなが笑顔になれるように楽しい活動をしていきます。5・6年生に任せてね！
自分の好きなことや得意なことを生かせる委員会があります。「忙しそう」「大変そう」のイメージではなく、伝えたいのは「委員会は楽しいよ！」ということ。みんなが笑顔になれる楽しい学校をこれからも自分たちで創っていきます！